

2025年4月3日（木）、東洋大学文学部史学科における「新入生交流イベント」のひとつとして白山史学会主催の「歴史学への招待」が開催されました。毎年の恒例行事で、今年度は史学専攻博士後期課程に在学中の小林哲也さんに「坂本龍馬の手紙を読む」のタイトルでご講演いただきました。

講演は坂本龍馬が記した二通の書簡のなかに龍馬の実像を明らかにするための手がかりを得ようとするもので、お話の最後には、史料を読むことの楽しさや難しさなど、歴史学の入口に立った新入生たちへのエールも込められていました。新入生にとってはおそらく初めて耳にする歴史学の専門的な講演だったはずで、100名前後の参加者たちはみな真剣な表情で小林さんの講演に耳を傾けていました。

小林さん、丁寧にご準備いただき、本当にありがとうございました。

